

令和６年３．２８

【監査通信】おうでぃっと めーる

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・令和5年度文書管理監査に関する監査の意見調整について
■【監査ニュース】
・私学助成9校が減額や不交付 【2/1 毎日新聞】 他 6 件
■【連載企画】
・オールカンサニッポン！「研究機関における不正使用事案」
■【Audit Cafe】
・ワインのすすめ

表題写真 ：榴ヶ岡天満宮の梅

内 部 監 査 情 報

・令和5年度文書管理監査に関する意見調整について

令和5年度の文書管理監査に関する監査について、現在監査報告書を作成しております。対象部局との意見調整は4月以降を予定しておりますので、意見調整依頼がありましたら、ご確認くださいますようお願いいたします。

監 査 ニ ュ ー ス

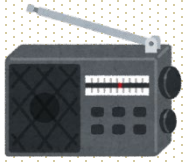
・私学助成9校が減額や不交付 【2/1 毎日新聞】
・京大の自治文化辛うじて守る 吉田寮学生側が一部勝訴 【2/17 河北新報】
・阪大4助教 セクハラ 女子学生撮影、会食誘う 【2/20 産経新聞】
・ナノテラス出資企業伸びず 県議会知事答弁「資金ショートも」【2/21 河北新報】
・ボクシング部 東農大存続へ 薬物関与に再発防止策 【2/21 日経新聞】
・アメフト部で大麻疑い 法大、警視庁検査では陰性 【2/21 日経新聞】
・教育・研究に関連する研鑽も「労働時間」 大学病院の勤務医めぐり通知改正 【2/28 朝日新聞】

連 載 企 画



毎回個性的なラジオパーソナリティが、リスナーからのお便りを取り上げ、
監査について一緒に学んでいく深夜ラジオ。
第7回目は、HOØYA による「研究機関における不正使用事案」です。

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON



（RP：HOØYA）

はじまりましたオールカンサニッポン！ラジオパーソナリティのロックバンド HOØYA です。今回のテーマは「研究機関における不正使用事案」ということで、文部科学省のホームページに掲載されている令和5年度の研究機関における不正使用事案をお伝えします！海の香りをロックにのせてお送りするぜ。8ビートと青じそを刻んじゃうよ。

ということで今回は、文部科学省のホームページ「研究機関における公的研究費の管理・監査」に掲載されている令和5年度の研究機関における不正使用事案をご紹介したいと思います。当該ページは不正使用事案の調査結果が具体的に掲載されています。どういった不正がどのように起こったのかを確認することは、日々の事務手続きがなぜ必要なのかの理解にもつながり、何かと参考になると思いますので、お読みいただければ幸いです。

令和5年度　研究機関における不正使用事案（文部科学省上記 HP より抜粋）。

No.	研究機関名	不正が行われた年度	不正の内容	不正に支出された研究費の額	不正に関与した研究者数	最終報告書提出日
1	福島大学	平成 24 年～令和 4 年度	架空請求（カラ出張）	996,280 円	1 人	令和 5 年 6 月 13 日
2	鹿児島大学	平成 22、23 年度	合算使用の制限のルールに違反した使用	1,714,639 円	1 人	令和 5 年 6 月 26 日
3	北陸先端科学技術大学院大学	令和元年度～令和 3 年度	旅費の過大請求	146,000 円	1 人	令和 5 年 9 月 15 日

【不正事案の概要について（文部科学省上記 HP より抜粋）】

①No.1の不正事案について

（発覚の時期及び契機）

令和 4 年度福島大学の内部監査において、神戸へ日帰り出張した翌日に東京日帰り出張を行うなど、連日する遠方への出張において、用務地へ宿泊する方が経済的・効率的であるにもかかわらず、深夜に帰宅し早朝に出発するなど、非現実的な日帰り出張が度々行われており、出張行程に疑義が生じたことから、出張先の団体等に事実確認を求めたところ、複数の団体等から「出張の事実が確認出来ない。」旨の回答があったため、監査室長が令和 4 年 11 月 15 日に福島大学の通報窓口（総務課長）に通報した。

（不正の具体的な内容（調査結果））

・動機、背景

当該教員は、韓国の研究用図書を大学のシステムを通して購入すると割高になり研究費が不足するとして、旅費の架空請求を行い研究用図書の購入に充てたとしている。さらに、年度末の予算執行締め切り後に図書が必要になる場合に備え、不正に領得した旅費を自らの口座にストックした。

・手法

学会等の案内をインターネット等で入手し架空請求を行い、虚偽の出張報告書を提出することにより大学から旅費を領得していた。

（研究機関が行った措置）

・関係者の処分

国立大学法人福島大学職員就業規則に基づき、令和 5 年 7 月 26 日付けで当該職員を諭旨解雇処分とした。

・本件の公表状況

令和 5 年 7 月 28 日に記者会見を行うとともに、福島大学ホームページに公表した。（氏名公表あり）

②No.2の不正事案について

（発覚の時期及び契機）

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の助教が、鹿児島大学及び事案当時に助教の所属する講座の長であった元教授を被告とする損害賠償請求等の訴状を平成 27 年 9 月 8 日に提出した。

助教は、請求の原因の一つとして自身の科研費を元教授が一括管理し、助教は採択された科研費の直接経費の多くを自己の研究目的のために使うことができなかったと主張した。

判決において、元教授によるこのような仕組みの発案、導入及び運用により、助教が取得した科研費の多くが本件講座の構成員全員が使用する共通物品（以下、「共通物品」という。）の購入に充てられたと考えられることから、科研費の使用に関する規定やルールに違反すると判断された。

（不正の具体的な内容（調査結果））

・動機、背景

元教授が、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科に着任後、科研費を取得できなかった人も研究できるように科研費を講座で一括管理して使用すると一方的に決定し、助教が獲得した科研費が共通物品の購入に充てられた。

元教授は、講座の長という立場から、このような制度を発案・運用し、研究代表者である助教は断ったが、最終的には報復を恐れ、やむを得ず同意した。

・手法

当該科研費から、共通物品を購入し、各研究のために使用していた。

（研究機関が行った措置）

・関係者の処分

元教授は、現在鹿児島大学に在籍しておらず、鹿児島大学において処分を行うことはできない。

・本件の公表状況

令和 5 年 7 月 27 日 鹿児島大学ホームページに公表（氏名公表あり）

③No.3の不正事案について

（発覚の時期及び契機）

北陸先端科学技術大学院大学が、同大学の不正防止計画に沿って抽出によりモニタリングを実施したところ、令和 3 年 11 月 11 日、教員 1 名（元先端科学技術研究科教授、以下「元教授」）について、出張報告書に記載された宿泊先に宿泊しておらず、宿泊料の請求に関し不適切と疑われる事案が確認された。その同行者 1 名（元先端科学技術研究科研究員、以下「同行者」）も同様であった。

（不正の具体的な内容（調査結果））

・動機、背景

北陸先端科学技術大学院大学では、自宅等（知人宅を含む）に宿泊する場合は宿泊料を支給しないこととなっており、出張前に作成する旅行命令伺兼旅費請求書では宿泊料請求区分欄のチェックを、出張後に作成する出張報告書では宿泊先の記載を求めている。これら書類については、教員等の秘書業務を担当する部署が教員等から連絡のあった情報に基づき作成を代行しており、令和 3 年末まで、元教授を含む一部の教員等に関しては、印鑑を預かりこれら書類への押印も代行していた。ホテル等宿泊施設の領収書についても、出張者が出張の翌年度末まで自身で保管し、モニタリングや監査等で求めがあればこれを提示する取扱が、令和 3 年末まで続いていた。

こうした状況において、元教授は秘書業務担当部署への連絡の重要性について認識が不足していたため、これを怠ることがあった。

なお、調査の過程で旅費の過大請求を意図した明確な動機を示す証拠や証言は認められなかった。

・手法

宿泊 9 件について、ホテル等宿泊施設への宿泊予定を知人宅への宿泊に変更したにも拘らず、その連絡を怠り、関係書類の修正がなされないまま請求できない宿泊料を請求した形となっていた。

（研究機関が行った措置）

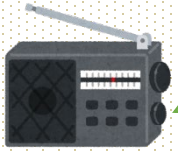
・関係者の処分

元教授は北陸先端科学技術大学院大学を既に退職しているため、同大学の関係規程による処分はできなかった。不正と認定された経費等は、元教授に返還を求める予定。

・本件の公表状況

令和 6 年 3 月 1 日に北陸先端科学技術大学院大学の HP に掲載（氏名非公表）。

以上、文部科学省 HP からの抜粋により不正事案の概要をご紹介させていただきました。さらに詳しい内容は、「研究機関における公的研究費の管理・監査」に掲載されておりますので、是非ご確認ください。



（HOØYA）

ということで、今回は「研究機関における不正使用事案」についてお伝えしました。
日々の業務に役立ててくれよな！ジャーン（ギター）！
もうすぐ春だな。氷室（ひむろ）に入れていた布袋（ぬのぶくろ）から夢と希望をとり出して、桜の下で弾けようぜ！そん時、酒のつまみはほ～やの燻製でよろしく！今回のオールカンサニッポン、お相手はロックバンド HOØYA でした。最後まで聞いてくれてありがとう。See you！See you！See you！See you！

ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON ALLKANSANIPPON

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「ワインのすすめ」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行してから10か月が過ぎました。街の賑わいもだいぶ戻ってきたようです。春は行事が多く、お酒をいただく機会も増える季節ですね。



お酒といえば、ビール、日本酒、ウイスキー、ワインなど色々ありますが、皆さんは何がお好きですか。私は中でもワインが好きです。好きになったきっかけは、子育てが一段落し有り余る時間をもてあましていた時に、友人とワイン教室に参加したことです。老後の楽しみにも良いかも・・・と軽い気持ちで教室に通い始めました。最初は意味不明だったワインの表現も少しずつ分かるようになると楽しくなり、気が付けばワインの沼にはまっていました。
ワインは、ご存じのとおりぶどうから造られるお酒。ぶどうの種類や造り方によって赤・白・ロゼ・スパークリング、味わいは甘口～辛口まで様々なタイプがあります。ワイン用のぶどうといえば、カベルネ・ソービニヨンやピノ・ノワール（黒ぶどう）、シャルドネ（白ぶどう）などが有名です。一度はお耳にしたことがあるかもしれませんね。

簡単にタイプ分けをするなら、カベルネ・ソービニヨンからは果実味・酸味・タンニンがしっかりした濃くしっかりした味わいの赤ワイン、ピノ・ノワールからは香り豊かで滑らかな口当たりの赤ワインが造られます。世界一高いワインであるロマネコンティもピノ・ノワールから造られています。シャルドネからは果実味豊かでコクのあるワインやシャープな酸が際立つすっきりとしたワインが造られます。いずれもメジャーな品種のため世界中で作られています。飲んだワインが美味しかったら、ぶどう品種をチェックして産地別で飲んでみると、また違う美味しさに出会えるかもしれません。
最近は健康志向もあってか、オーガニックで栽培されたぶどうを自然酵母で発酵させ、亜硫酸などを添加せず無濾過で瓶詰めした、ナチュラルワインの人気が広がりつつあるようです。

様々なワインの中でも、私はスパークリングワインが好きです。特にシャンパーニュは特別感もあって気分も上がります。しかし残念なことに、お値段も特別なシャンパーニュは、たまにしか飲めません。そこで、スパークリングワインが飲みたい！そんな時は、スペインのカヴァを飲みます。お値段はお手頃ですが、シャンパーニュと同じ瓶内二次発酵という手間のかかる工程で造られているので、より複雑な香りや味わいになり美味しいです。夏の暑い時にきりっと冷やして飲むと最高です。



海外のワインも良いですが、日本のワインはどうなのでしょうか。日本には甲州やマスカット・ベリーA など日本固有のぶどう品種もありますし、様々なワインが造られています。東北地方や新潟県には魅力的なワイナリーがたくさんあり、お土産も充実しているので、ワインを飲む方もそうでない方も楽しめそうです。

来月はお花見シーズン、奇麗な桜を見ながら飲むお酒はとても美味しいと思います。お酒は人と人をつなぐツールでもありますが、マナーと自分の酒量を守って楽しくいただきたいですね。

監査室　SI

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：新沼）
022-217-5680，4880（佐々木、熊谷、齋藤、國分、清水石）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University